



事業計画と予算のあらまし

令和7年3月14日に第211回組合会が開催され、共済組合の令和7年度事業計画
および予算が議決されましたので、その概要についてお知らせします。

組合の概要 (令和7年度末)



共済さん

● 所属所数

市	11
町	8
一部事務組合等	14
合 計	33

● 被扶養者数

11,258人

● 平均標準報酬の月額

短期	325,788円
長期	366,873円

● 組合員数

一 般 組 合 員	12,158人
(うち特別職)	39人
短 期 組 合 員	5,106人
市 町 村 長 組 合 員	17人
特 定 消 防 組 合 員	1,513人
長 期 組 合 員	7人
後期高齢者等短期組合員	18人
市町村長長期組合員	2人
任 意 継 続 組 合 員	257人
合 計	19,078人

掛金率・組合員保険料率

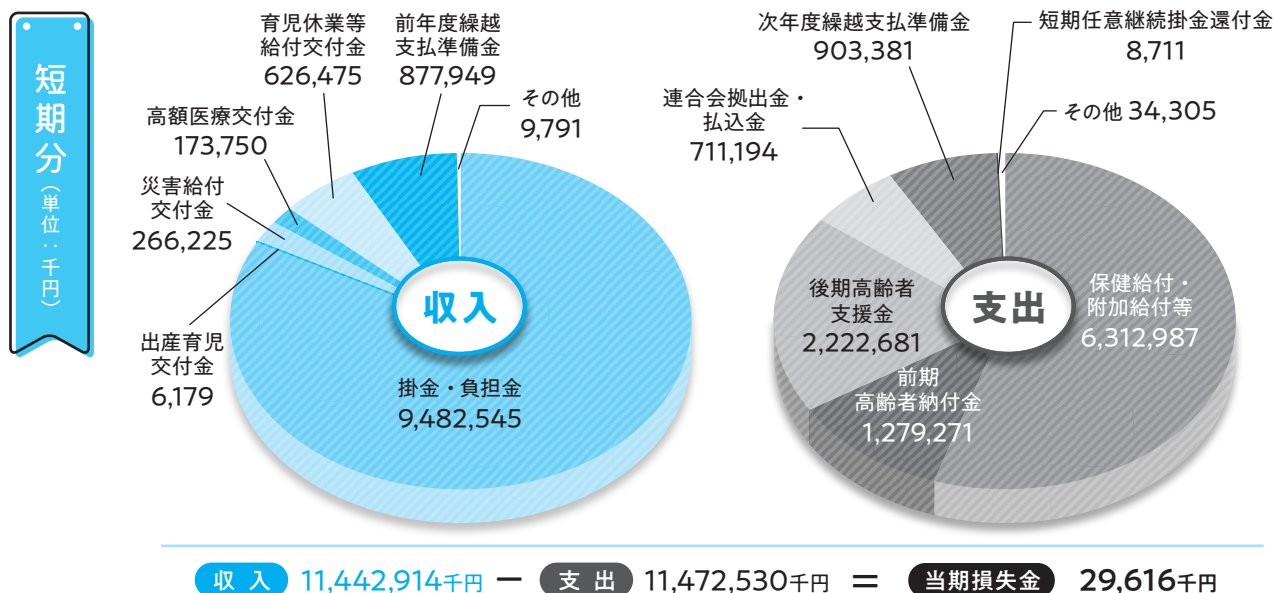
(単位:‰)

区 分	短期給付 掛金率	介護保険 掛金率	厚生年金保険 組合員保険料率	退職等年金 掛金率	福祉事業 掛金率
市 町 村 長 組 合 員	48.50	8.5	91.50	7.50	2.16
一 般 組 合 員					
特 定 消 防 組 合 員					
市 町 村 長 長 期 組 合 員	2.52	—	—	—	—
長 期 組 合 員					
短 期 組 合 員	48.50	8.5	—	—	2.16
後期高齢者等短期組合員	2.52	—			—

※介護保険は、40歳以上65歳未満の組合員が対象となります。 ※厚生年金保険は、70歳未満の組合員が対象となります。

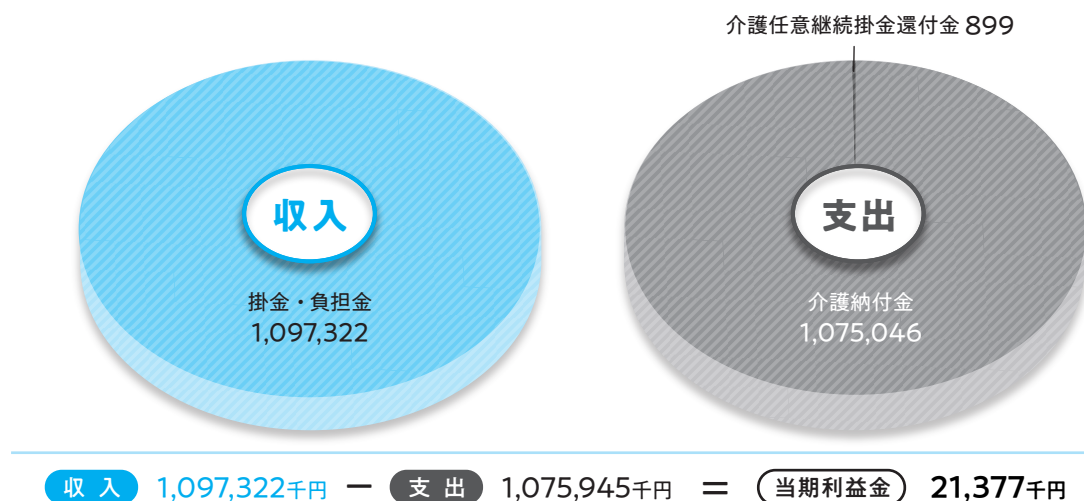
短期給付事業

令和7年度は、費用の中で大きな部分を占めています保健給付等が、令和6年6月に行われた診療報酬の改定および薬価改定等の影響が満年度化することを踏まえ、前年度と比べ支出が大きく増加すると見込まれます。また、後期高齢者支援金も増加となるため、下記のように損失金が発生する見込みです。



介護分 (単位: 千円)

介護納付金は、令和6年度まで年々増加傾向にありましたが、令和7年度は令和5年度の概算納付金の清算により僅かに減少し、収支は2千百万円の利益金が生じる見込みです。



長期給付事業 (厚生年金保険経理・退職等年金経理・経過的長期経理)

厚生年金の組合員保険料率は平成30年9月より91.5%に固定されております。徴収した保険料・負担金は支払い業務を行っている全国市町村職員共済組合連合会へ全額払い込んでおります。

保健事業

令和7年度は、能登半島地震で下がった特定保健指導実施率を向上させるための取り組みを強化するとともに、人間ドック・脳ドック助成事業をより効果的かつ効率的に行うための制度変更（P10参照）を行います。

また、組合員の皆様の健康リテラシーの向上と共済組合におけるDX化促進ツールとして、民間PHR『Pep Up』（P9参照）を導入します。

事業の種類

項目	事業計画額(千円)	概要
保健関係	人間ドック検査助成	181,595 30歳以上の組合員および被扶養者(組合員期間1年以上)を対象に日帰りドック・1泊2日7割(いずれも税抜・上限額40,000円)の検査料を助成する。ただし指定年齢(35・40・45・50・55・60歳)はプラス10,000円の助成。
	脳ドック検査助成	20,831 30歳以上の組合員および被扶養者(組合員期間1年以上)を対象に7割(税抜)の検査料を助成する。
	胃がん検診助成	4,900 組合員および被扶養者を対象に行う。(3,500円以内)
	肺がん検診助成	6,400 50歳以上の組合員および被扶養者を対象に行う。(喀痰 2,000円以内) 40歳以上の組合員および被扶養者を対象に行う。(肺CT 5,000円以内)
	大腸がん検診助成	2,750 40歳以上の組合員および被扶養者を対象に行う。(1,100円以内)
	子宮がん検診助成	7,000 組合員および被扶養者を対象に行う。(2,800円以内)
	乳がん検診助成	3,600 組合員および被扶養者を対象に行う。(2,400円以内)
	定期健診追加検査助成	9,800 40歳以上の組合員および被扶養者を対象に所属所長が指定した医療機関で検診を行う。(1,400円以内)
	歯科健康診断助成	3,580 組合員および18歳以上の被扶養者を対象に検査料(全額)を助成する。
	C型肝炎ウイルス検査助成	1,540 40歳以上の組合員および被扶養者を対象に行う。(1,100円以内)
	前立腺検査助成	880 50歳以上(男性)の組合員および被扶養者を対象に行う。(1,100円以内)
	インフルエンザ予防接種助成	30,000 組合員を対象に行う。(2,500円以内)
	こころの相談室	1,900 組合員および家族を対象に心の専門家によるカウンセリングを行う。
	高リスク者保健指導	300 所属所が実施する検診で結果が高リスクな者を対象に面接保健指導を行う。
	生活習慣病重症化予防受診勧奨	500 要医療者および糖尿病等の重症化予防の受診勧奨を行う。
	小 計	275,576
保養関係	保養所利用料金の助成	56,900 ○組合員およびその家族がおびし荘で宿泊:3,500円助成 ○組合員およびその家族が契約宿泊施設で宿泊:2,000円助成
	小 計	56,900
体育関係	体力づくり奨励費助成	5,744 組合員およびその家族を対象に行う。 ○プール:入場料助成 ○スキーリフト:1,000円助成
	体育大会経費助成	800 組合員が参加する次の運動競技大会の経費を助成する。 ○都市職員等体育大会
	小 計	6,544
健診関係	特定健康診査費	7,285 40歳以上75歳未満の被扶養者等を対象とした健康診断費等
	特定保健指導費	15,960 40歳以上75歳未満の組合員および被扶養者の健診結果に基づく指導対象者への保健指導費等
	小 計	23,245
合 計		362,265

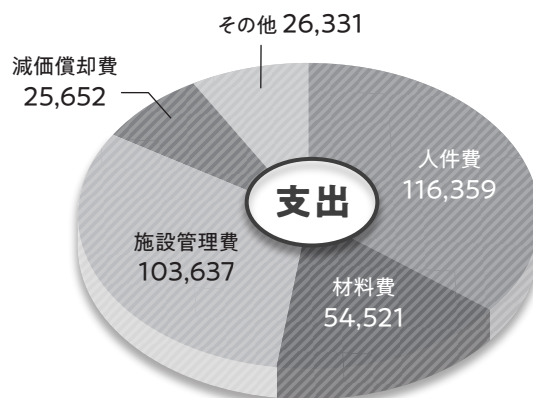
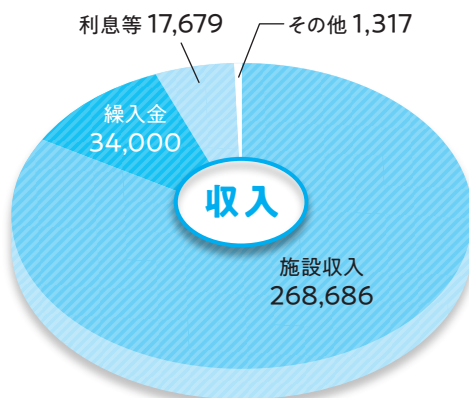
宿泊事業〔おびし荘〕

組合員とご家族の皆様にご親しまれる施設として健全な経営を図り、利用者の皆様からのご意見を反映しながら、より一層のサービス向上に努めてまいります。

また、組合員価格でご利用いただくための「利用助成券」を同封しておりますので、ぜひご活用ください。



おびし荘
(単位…千円)



$$\text{収入 } 321,682 \text{千円} - \text{支出 } 326,500 \text{千円} = \text{当期損失金 } 4,818 \text{千円}$$

貯金事業

令和7年度の支払利率は、債券市場の利回りの上昇や市中金利等を踏まえて、前年度から0.1%引き上げ年利1.1%(半年複利)に設定します。今後も、皆様からお預かりした資金を安全かつ効率的に運用してまいります。

区 分	令和6年度 (見込)	令和7年度 (推計)	比較
貯金総額(千円)	67,770,434	70,165,400	2,394,966
貯金者数(人)	18,621	18,560	▲61
1人当たりの貯金額(千円)	3,639	3,780	141
加入率(%)	97.9	97.3	▲0.6
支払利率(%)	1.0	↗ 1.1	0.1

貸付事業

令和7年度より、災害貸付における審査基準要件(災害見舞金の給付対象となった損害の程度に応じた金額)が緩和され、より利用しやすく改正されましたので、ご活用ください。

▲ 貸付金の状況

前年度末貸付残高	貸付額	償還額	本年度末貸付残高
618,031千円	84,500千円	127,968千円	574,563千円